

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 3月 31日

事業所名 都城子ども療育センターひかり園

保護者等数(児童数) 35

回収数 25

割合 71%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	2			遊具がいろいろあり充実している。十分なスペースがあり、元気に活動できている。	園全体を使って遊びや生活の工夫をさらにしていきたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	6	4	2	子どもの多い日は職員数が足りないと感じる。いつも誰か先生がついてくださり、助言などありがたい。職員数が足りていないと感じることがある。	4:1の職員配置にはなっているが、親子通園としてすべての親さんや、お子さんへの行き届いた支援ができるよう今後もご意見を伺いながら進めたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	6	4	2	子ども自身どの部屋で何をするかきちんと理解し、行動できる。スケジュール等個別に対応してくれる。	クラス替えや、場面の變化に混乱することが無いように事前にわかりやすく伝える工夫をしている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25			1	子ども達のことを考え、家具の配置や、お集りの場所を工夫するなど、環境づくりを子どもに合わせて改善されている。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	23			2	子どもをよく観察しており、計画書作成の時親としても目標が持てる。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21			4		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	3		3		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	17	5	1	3	朝のお仕事など流れがパターン化しているもの以外は固定化しないようになっている	子どもたち自身がたっぷり遊びこめる工夫と同時に固定化しない工夫
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14	3	3	5		交流保育を再開した。併行通園に向けての配慮
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	2		1	説明を受け安心して通園できている。	毎年年度初めにオリエンテーションを実施
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	24			1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	21	1	1	2	先生たちから適宜助言がもらえる。親子通園の中でその時に応じた対処法を、先生たちの姿を参考にさせていただいている。	標準化したペアレントトレーニングは実施していない。親子通園の場でできるだけその場で相談に応じ、職員皆で共有している。親御さんに講演会形式の学習会を提供

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	23	1	1		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	1			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18	6	1	コロナ禍でできなかったランチ会ができた。特別な取り組みをするより、普段子ども達の療育中のお母さん同士の何気ないやり取りの積み重ねが保護者同士の連携にも名がっている	親の会活動は役員さんを中心に、チームワークよく実施しておられるので次年度も計画している。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	3	1	新年度のスケジュールは、幼稚園との兼ね合いもあるので早めに教えてほしい。	担当の職員が受けた相談もできるだけその日のうちに職員間で共有してお返しできるようにしたい。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1	2		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	4	1	園だよりをいただくことを楽しみにしています。日々の記録を持ち帰ってゆっくり読みたい。	併行通園も多く、連絡については変更等掲示やラインでお伝えしてきた。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	22	2	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	23	1	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25				
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	2		毎朝にここに来て楽しむ様子。登園するのを嫌がることは一度もないので楽しいのだと思う。園でした遊びを家でも使用と催促される。	子ども達が喜んで登園してくれるようにプログラムの工夫をしてゆきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	18	5	2	年齢別クラスの方が支援は手厚いように思うが、登園日を選択できるのはよかった。	ありがとうございます。お気づきの点は遠慮なくご相談ください。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。